

修士論文（要旨）
2025年1月

一人っ子世代の親の介護形態の選択に関する要因

指導 杉澤 秀博 教授

国際学術研究科
国際学術専攻
老年学学位プログラム
222J5003
張 奇

Master's Thesis (Abstract)
January 2025

Factors Related to Nursing Care Arrangement Desired by Parents of
the One-child Generation

Qi Zhang
222J5003

Master of Arts Program in Gerontology
Master's Program in International Studies
International Graduate School of Advanced Studies
J. F. Oberlin University
Thesis Supervisor: Hidehiro Sugisawa

目次

序章

第1章 はじめに

1.1 研究背景	1
1.2 先行研究の到達点と残された課題	1
1.3 本研究の目的とオリジナルな点	4

第2章 研究方法

2.1 調査対象	4
2.2 調査票の配布と回収	5
2.3 分析項目	5
2.4 統計解析	8
2.5 倫理的配慮	8

第3章 研究結果

3.1 t検定、カイ ² 乗検定分析の結果	8
3.2 多項ロジスティック回帰分析の結果	10

第4章 考察

10

参考文献 資料

第1章：はじめに

中国においては、「一人っ子政策」によって子どもによる介護機能が低下し、家族のみで親の介護を全面的に担うことができなくなっている。このような背景のもと、中国政府は上海市、青島市、広州市などの都市で介護保険制度のパイロット事業を始めた。

高齢者が要介護状態になった場合、どのような介護形態を選択するかについては、在宅介護を希望する要因として、年齢が高い、教育レベルが低い、世帯員数が多い、世帯の収入満足度が低い、要介護度が高いことが影響していることが明らかにされている。しかし、一人っ子世代の親を研究対象にし、在宅か施設かという選択肢以外の介護形態にも着目し、その選択に影響する要因を解明した研究はない。

本研究では、一人っ子世代の親を研究対象とし、在宅については「家で主に家族」「家で主に介護サービスを利用する」、さらに「施設入居」の3類型の介護形態の選択に影響する要因を解明することを目的とした。

第2章 研究方法

2.1&2.2 調査対象と調査方法

上海市に居住する50歳以上の人っ子の親とし、研究者の個人的なネットワークを活用して対象者を抽出した。調査方法はウェブ調査であった。回答者は計197名であった。

2.3 分析項目

1) 介護形態の選択

要介護状態になった場合を想定し、介護形態として「家族から介護を受ける（家族介護）」「家で主に介護サービスを利用する（介護サービス）」「施設入居（施設）」のいずれの類型を選択したいかという回答に基づき、介護形態の選択意向を評価した。

2) 親の介護経験

①介護した親の介護形態、②要介護度、③週平均の介護時間数、④介護期間、⑤介護サービスの利用実態、⑥利用した介護サービスの質の評価、⑦介護を通して大変困ったこと、⑧介護を通して大変得られたもの、⑨介護経験が自身の介護形態の選択意向に与える影響の自己評価、を測定した。

3) 介護に関する意識

介護に関する意識については、①介護サービスの利用意向、②子どもが親を施設に入ることへの態度、③親孝行の形式への期待、④子どもへの介護期待で構成した。介護サービスの利用意向は、親の介護経験で測定した介護サービス内容と同じ7種類のサービスを用いて測定した。

4) 調整変数

①年齢、②最終学歴、③経済的な暮らし向き、④養老保険の有無、⑤慢性疾患の有無、⑥健康度の自己評価、⑦上海市の介護政策についての認識、を測定した。

2.4 統計解析

介護経験の影響については、介護経験のあり、分析項目に欠損値がない137名を、介護に関する意識の影響については、分析項目に欠損値がない191名を対象に分析した。まず、介護形態の選択と、親の介護経験および介護に関する意識に関する意識に関する項目の2項目間の関連については、t検定、カイ2乗検定で評価した。次に、他の要因の影響を考慮した上でも親の介護経験、介護に関する意識の各項目の独自影響を評価するため、多項ロジスティック回帰分析を行った。分析の際には、「主に家族から介護を受ける」を基準カテゴリとした。統計処理はIBM SPSS Statistics 30を用いた。

2.5 倫理的配慮

本研究は桜美林大学倫理審査委員会で承認されている（承認番号：24027）。

第3章 研究結果

3.1 t検定、カイ2乗検定分析の結果

3.1.1 親の介護経験との関連

①介護した親の日常生活動作の障害程度と②介護によって得られた満足感が介護形態の選択に有意な影響があり、①については「介護サービス」群と「施設」群では「家族介護」群に比べ、障害の程度が有意に重い、②については「サービス」群は「家族介護」群に比べ親へ恩返しができたという満足感が有意に高いという結果であった。

3.1.2 介護に関する意識

①利用意向のある介護サービスの種類数、②子どもが親を施設に入れることへの態度、③親孝行の形式への期待、④子どもへの介護期待が介護形態の選択に有意な影響があった。すなわち、①については、「サービス」群は「家族介護」群に比べ、利用意向のあるサービスの数が有意に多かった。②については、「サービス」群と「施設」群では「家族介護」群に比べ、子どもが親を施設に入れることに対し「最も現実的な解決案かもしれない」と考えている傾向が有意に高かった。③については、「施設」群は「家族介護」群に比べ、子どもに生活の面倒を見てくれるという期待が有意に低かった。④については、「施設」群は「家族介護」群に比べ、老後は主に子どもに介護してもらうとの期待が有意に低かった。

3.2 多項ロジスティック回帰分析の結果

親の介護経験については、「サービス」群と「施設」群では「家族介護」群と比較して、有意な影響する項目はなかった。介護に関する意識については、「サービス」群では「家族介護」群と比べ、子どもに介護してもらうという考えが有意に低かった。

第4章 考察

介護経験の介護形態の選択への影響が有意でなかった理由には、次の2つが考えられる。第1に、多くの先行研究では一人っ子世代の親の特徴として「独立養老」の意識が強いことが明らかにされており、そのような意識が強く影響した結果として、介護経験の介護形態の選択に与える影響が弱まった可能性がある。第2は、対象者の居住場所では社区医療衛生サービス（基礎的な医療サービス）が十分に保障されている地域であることから、それを活用できる場合、家族介護と介護サービス、施設のいずれを利用しても介護問題に大きな差がなくなることが予想されることから、介護経験の介護形態の選択に与える影響が弱まった可能性がある。

参考文献

- 中国国家統計局 2002
https://www.stats.gov.cn/sj/tjgb/ndtjgb/qgndtjgb/202302/t20230206_1901945.html
- 中国国家統計局 2022
https://www.stats.gov.cn/xxgk/sjfb/zxfb2020/202202/t20220228_1827971.html
- 唐燕霞. (2021). 中国都市部における社区在宅介護サービスの現状と課題—北京市を事例として. 中国 21, 54, 275-298.
- 中国発展研究基金会 2020
<https://www.cdrf.org.cn/zgfzbg/index.htm>
- 中国国家データ 2024
<https://data.stats.gov.cn/easyquery.htm?cn=C01&zb=A0305&sj=2010>
- 令和6年版高齢社会白書 2023
https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2024/zenbun/pdf/1s1s_02.pdf
- 包敏, & 浅野仁. (2001). 中国沿海地域の大学生の老親扶養意識. 関西学院大学社会学部紀要, 89, 185-193.
- 楊亞楠. (2020). 中国における「一人っ子政策」の撤廃と女性就業・勤労権の保障を中心に. Waseda University
- 太湯好子, 實金栄, 桐野匡史, 竹田恵子, 高井研一, & 中嶋和夫. (2010). 家族凝集性と老親扶養意識が介護の社会化意識に与える影響: 東アジア圏域の日本と中国東北地域の比較. 日本保健科学学会誌, 13(1), 31-41.
- 风笑天. (2023). 2023—2032: 第一代独生子女父母养老困境真正来临. Journal of Jiangsu Administration Institute. No1, 2023.
- 万琳静&小島克久. (2022). 介護保険パイロット事業等からみる中国の高齢者介護制度. 社会保障研究, 6(4), 454-468.
- 包敏. (2023). 「第14次5カ年(2021~2025年)計画期間における国家高齢者事業の発展と養老サービス体系に関する計画」から読み取る今後5年間の中国高齢化対策. 東京医科大学教養部研究紀要, 2023(53), 43-58.
- 孫心悦, & ソンシンエツ. (2023). 中国上海市においてケアマネジメント体制を構築するための要件: 高齢者のサービス利用のプロセスから (Doctoral dissertation, Doshisha University)
- 孫心悦, & ソンシンエツ. (2024). 中国の社区居宅介護サービスの供給システムにおけるネットワークづくりの実態と課題: 上海市の支援者へのインタビュー調査を通して (Doctoral dissertation, Doshisha University).
- 穆光宗&姚远. (1999). 探索中国特色的综合解决老龄问题的未来之路. POPULATION & ECONOMICS. No. 2.
- 袁缉辉. (1995). 强化家庭作用 支持居家养老. Journal of Shanghai University (Social Science Edition). No. 6, 1995.
- 袁缉辉. (1996). 养老的理论与实践. Chinese Journal of Gerontology. No. 16, 1996.
- 杨宗传. (2000). 居家养老与中国养老模式. ECONOMIC REVIEW. No. 3, 2000.
- 丁志宏. (2011). 我国社区居家养老服务均等化研究. POPULATION JOURNAL. No. 5, 2011.
- 王轲. (2018). 居家养老概念辨析. NEW WEST. August, 2018.
- 陈伟涛. (2021). “和而不同”家庭养老、居家养老和机构养老概念比较研究. SOCIAL SCIENCES IN GUANGXI. No. 9, 2021.
- 宋宝安. (2006). 老年人口养老意愿的社会学分析. Jilin University Journal (Social Sciences Edition). Vol46 No. 4, 2006.
- 蔡敏, 张耀光, 谢学勤, & 吴士勇. (2021). 我国60岁及以上老年人口养老意愿及选择居家养老的影响因素分析. Chinese Journal of Hospital Statistics. Vol128 No. 4, 2021.
- 纪竞垚. (2022). 中国老年人的养老意愿: 现状、趋势及群体性差异- 基于三期中国老年社会追踪调查数据. Scientific Research on Aging. Vol. 10 No. 7, 2022.

- 松鶴甲枝, 鷺尾昌一, 荒井由美子, 森満, & 井手三郎. (2002). 訪問看護ステーションを利用している在宅要介護高齢者の入院・入所に関する要因. 日本公衆衛生雑誌, 49(10), 1107-1116.
- 後藤真澄, & 若松利昭. (2003). 要介護度別の介護サービス利用特性に関する研究. 厚生の指標, 50(7), 17-22.
- 綾部明江. (2007). 要介護高齢者の在宅生活継続に関する影響要因とケアの視点. 日本看護学会誌, 27(2), 243-252.
- 大沼剛, 牧迫飛雄馬, 阿部勉, 三浦久幸, & 島田裕之. (2012). 訪問リハビリテーション利用者における在宅生活継続を阻害する要因. 日本老年医学会雑誌, 49(2), 214-221.
- 风笑天. (1991). 城市独生子女父母的老年保障问题. Journal of Beijing University (Social Science Edition). No. 5, 1991.
- 风笑天. (2006). 从“依赖养老”到“独立养老”独生子女家庭养老观念的重要转变. [J]. 河北学刊 2006(3).
- 风笑天. (2010). 面临养老: 第一代独生子女父母的心态与认识. Journal of Jiangsu Administration Institute. No. 6, 2010.
- 风笑天. (2020). “空巢”养老? 城市第一代独生子女父母的居住方式及其启示. Journal of Shenzhen University (Humanities & Social Sciences). Vol. 37 No. 4, 2020.
- 纪竞垚. (2015). 只有一孩, 靠谁养老?: 独生子女父母养老意愿及影响因素分析. Scientific Research on Aging. Vol13 No8, 2015.
- 伍海霞. (2017). 城市第一代独生子女父母的社会介護服務需求—基于五省調查数据的分析. Journal of Social Sciences. Vol15 No4, 2017.
- 伍海霞. (2022). 中国独生子女与多子女老年人养老意愿的比较分析. POPULATION JOURNAL. No, 252, 2022.
- 荒木晴美, 新鞍真理子, & 炭谷靖子. (2012). 介護者自身が最期を迎える場所の選択に関連する要因. 日本看護研究学会雑誌, 35(2), 211-218.
- Pope, N.D. (2013). Views on Aging: How Caring for an Aging Parent Influences Adult Daughters' Perspectives on Later Life. J Adult Dev 20, 46-56.
- 成红磊. (2017). 老年人照顾父母的现状及其照顾困难影响因素的实证分析. Scientific Research on Aging. Vol15 No. 4, 2017.
- 上海市民政局. 上海市老年人口と高齢事業監測統計情報 2022
<https://mzj.sh.gov.cn/2023bsmz/20230415/bfc8f0d4d8b941589ee42283216b3dbd.html>
- 中国人口普查年鉴 2020
<https://www.stats.gov.cn/sj/pcsj/rkpc/7rp/zk/indexch.htm>
- 张文娟. (2015). 中国老年人的失能水平到底有多高. Population Research. Vol139 No. 3, 2015.
- 周晓蒙. (2018). 失能老年人的居住意愿及其影响因素分析. POPULATION & DEVELOPMENT. Vol124 No. 2, 2018.
- 阚顺玉. (2019). 上海市长期护理保险政策执行情况研究. ECONOMIC RESEARCH GUIDE. No. 2, 2019.
- 唐咏. (2012). 高龄失能老人主要照顾者心理健康与长期照护体系的建立. ACADEMIC FORUM. No. 9, 2012.
- 黄晨熹. (2016). 家庭长期照顾者的特征需求与上海市失能失智老人照顾者为例. Society & Humanities.
- 黄国桂. (2017). 中国老年人照料父母的现状及相关心理问题研究. Scientific Research on Aging. Vol15 No5, 2017.
- 裴敏超. (2018). 老年家庭照顾者的照顾困境及支持策略分析. Labor Security World.
- 李丹. (2021). 照料父母对子女健康福利的影响研究. Scientific Research on Aging. Vol19 No. 10, 2021.
- 唐咏. (2023). 城市临终老人的照料负担及影响因素研究. Population and Society. Vol39 No. 5, 2023.
- 孙金明. (2023). 照料父母的老年人的抑郁症状及相关因素. Chinese Mental Health Journal. Vol137 No. 5, 2023.

- 斎藤恵美子, 國崎ちはる, & 金川克子. (2001). 家族介護者の介護に対する肯定的側面と継続意向に関する検討. 日本公衆衛生雑誌, 48(3), 180-189.
- 山本則子, 石垣和子, 国吉緑, 河原(前川)宣子, 長谷川喜代美, 林邦彦, & 杉下知子. (2002). 高齢者の家族における介護の肯定的認識と生活の質, 生きがい感および介護継続意思との関連: 続柄別の検討. 日本公衆衛生雑誌, 49(7), 660-671.
- 唐沢かおり. (2006). 家族メンバーによる高齢者介護の継続意志を規定する要因. 社会心理学研究, 22(2), 172-179.
- 山本則子. (1995). 痴呆性老人の家族介護に関する研究: 娘および嫁介護者の人生における介護経験の意味: 3. 介護量引き下げの意志決定過程. 看護研究, 28(5), 73-91.
- Betty J. Kramer. (1997). Gain in the Caregiving Experience: Where Are We? What Next?. The Gerontologist, 218-232.
- 櫻井成美. (1999). 介護肯定感がもつ負担軽減効果. 心理学研究, 70(3), 203-210.
- 袁小波. (2009). 成年子女照料老年父母的积极体验研究. POPULATION& DEVELOPMENT. Vol15 No. 4, 2009.
- 纪竞垚. (2016). 我国家庭养老观念的现状及变化趋势. Scientific Research on Aging. Vol4 No. 1, 2016.
- 陶涛. (2019). 独生子女与非独生子女家庭老年人养老意愿及其影响因素研究. POPULATION JOURNAL. Vol41.
- 洪娜. (2013). 上海第一代独生子女父母的养老方式选择及影响因素研究. SOUTH CHINA POPULATION. Vol28 No. 6, 2013.
- 陈娜. (2021). 老年人口日常生活自理能力城乡差异研究. POPULATION & DEVELOPMENT. Vol127 No. 1, 2021.
- 陈娜. (2021). 失能老人非正式照料需求强度及其影响因素分析. Chinese Health Service Management. Vol138 No5, 2021.
- 张雪. (2022). 老年人口日常生活自理能力城乡差异分析. POPULATION & DEVELOPMENT. Vol128 No. 4, 2022.
- 刘影. (2024). 我国东、中、西部地区中老年人失能及其影响因素的区域差异研究. Chinese General Practice. Vol27 No. 7, 2024.
- 高晓路. (2012). 北京城市居民的养老模式选择及其合理性分析. PROGRESS IN GEOGRAPHY. Vol31 No. 10, 2012.
- 程晓钰. (2021). 基于安德森模型的上海市远郊养老模式选择意愿及影响因素分析. South China Journal of Preventive Medicine. Vol48 No. 1, 2021.
- 上海市衛生健康委員会. 上海市衛生健康施設特別計画(2024—2035年) 2023
<https://www.shanghai.gov.cn/gwk/search/content/99fbfb6e0d63440b97455de35720b58e>
- 上海市計画と自然資源局. 15 分の社区生活圏 2024
<https://ghzyj.sh.gov.cn/nw2423/>
- 蔡婷. (2016). 厦门市老年人文化程度对养老意愿的影响. Chinese Journal of Gerontology. Vol136, 2016.
- 王晶. (2024). 低龄老年人养老模式选择意愿及影响因素分析. CHINA MODERN DOCTOR. Vol162 No. 30, 2024.
- 张维. (2024). 天水市低龄老年人养老模式选择意愿及其影响因素研究. CHINESE PREVENTIVE MEDICINE. Online First Publish. 2024. 12. 20.